

*En attendant Bojangles*  
l'amour sublime et une famille extraordinaire  
Olivier BOURDEAUT

『ボージャングルを待ちながら』  
——究極の愛と風変わりな家族——

講演者 ● オリヴィエ・ブルドー (フランス人小説家)

特別ゲスト ● 諏訪 哲史 (芥川賞作家)

2016年に出版されるや、50万部以上のベストセラーとなり、  
その年のフランス読書界の話題を独占した『ボージャングルを待ちながら』。

その邦訳刊行に際し、著者オリヴィエ・ブルドー氏が緊急来日!!

芥川賞作家・諏訪哲史氏との公開対談も開催されます。

入場無料  
申込不要



オリヴィエ・ブルドー著  
金子ゆきこ訳、集英社

日時 2017年11月1日(水) 13:20~14:50

場所 701 教室 7号館地下1階

対象者 フランス語学科生、名古屋外国語大学生、教員、大学院生、留学生、名古屋学芸大学生、一般市民

共催 名古屋外国語大学ワールドリベラルアーツセンター

アンスティチュ・フランセ日本

使用言語  
フランス語  
日本語通訳あり



Feuilles  
d'automne  
読書の秋



講演者

オリヴィエ・ブルドー Olivier BOURDEAUT

1980年フランスのナント生まれ。学習障害により中学校を中退、自宅で両親の蔵書を読んで暮らす。職業訓練校を経て、不動産業、ゲランドの塩職人など様々なアルバイトを転々とした後、最初の小説を2年かけて執筆するが出版には至らなかった。その後両親の家で7週間かけ『ボージャングルを待ちながら』を執筆、多くの出版社に断られるも、ブルドーの出版社から2016年に出版。瞬く間に4つの文学賞を受賞、29の言語に翻訳され、すでに映画化も決定している。



特別ゲスト

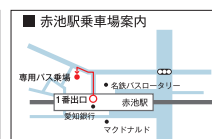
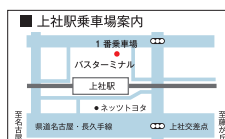
諏訪 哲史

1969年名古屋生まれ。国学院大学で種村季弘に師事し、文学・哲学ほか諸芸術について学ぶ。大学卒業後、名古屋鉄道に勤務。2007年、言葉の異物感にこだわり続ける風狂的な主人公を描いた『アサツテの人』で群像新人賞および第137回芥川賞を受賞。小説に『りすん』、『ロンバルディア遠景』、『領土』、『岩塩の女王』。批評に『偏愛蔵書室』。随筆に『スワ氏文集』、『うたかたの日々』。編著に『種村季弘傑作撰I・II』。  
©mikico

Tetsushi SUWA

■本校へのアクセスについて

名古屋市営地下鉄 東山線「上社」駅および鶴舞線・名鉄豊田線「赤池」駅より本学専用バスを運行しており無料でご利用いただけます。本学までの所要時間は、約15分です。ご乗車の際、運転手に本講演会にご参加される旨お伝えください。また、お車での来校はご遠慮ください。詳しくは学校HPでご確認ください。



■お問い合わせ

電話での本学へのお問い合わせは  
**(0561) 74-1111 (代) まで**  
名古屋外国語大学  
470-0197  
愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57